様式第１号の１

【私立・道外校用】（表）

令和８年　　月　　日

北海道知事　様

奨学のための給付金受給申請書

奨学のための給付金（高校生等奨学給付金）の受給を申請します。

ふりがな 申請者氏名		住所	〒
連絡先電話番号		高校生等との関係 （〇を付けてください）	親権者・未成年後見人・里親・ 生計維持者・生徒本人・その他（　　） ※専攻科の場合、「親権者」は「父母」と読み替える。
e-mail アドレス			

対象となる高校生等	ふりがな 氏　名		生年月日	（西暦）　　年　　月　　日
	学校名 （7 月 1 日時点の在学校）		学年	全日制・定時制・通信制・専攻科
	過去の高等学校等における在学期間	学校名 　　立	年　月　日 ～　年　月　日	学校の種類・課程・学科
		学校名 　　立	年　月　日 ～　年　月　日	学校の種類・課程・学科
	受給回数	昨年度までの本給付金受給回数（今回を含まない）	なし　1回　2回　3回　4回　不明 □　□　□　□　□　□	

	続柄	氏名	続柄	氏名
保護者等				

振込先	口座名義人 ※申請者名義の口座に限ります	フリガナ（カタカナ） 申請者の氏名		
	銀　行 信用金庫 信用組合 労働組合	本　店 支　店 支　所 出張所	預金種目 普通	口 座 番 号 （右づめで空欄は０でうめてください）
	金融機関コード	店番号		

申請者（保護者等）氏名

※上記の「申請者」と同一です。　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【確認・誓約事項】

次のことを確認し、右の欄に署名してください。

・この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
・この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
・私は、北海道以外の都府県に奨学のための給付金（高校生等奨学給付金）の申請は行っておりません。
・この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。
・この給付金の受給申請にあたり、高等学校等就学支援金の受給資格の認定状況、世帯の状況、生活保護（生業扶助）の受給状況、道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の課税状況等、その他北海道知事が必要と認める事項について、関係機関（行政機関、学校等）に照会等の調査を行うことに同意します。
・私又はこの申請の対象となる高校生等は、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する他の給付金の申請は行っておりません。（北海道アイヌ子弟高等学校等進学奨励補助制度）

《生活保護（生業扶助）受給世帯以外の方のみ》

・私の世帯は、７月１日現在、生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第 36 条の規定による生業扶助を受給していません。

※裏面にも記載事項があります。必ずご確認ください。

学事課記入欄 ※本校が道外にある学校に在学されている場合は、空欄でご提出ください。	①学校の区分	通信制・専攻科　□　　全日制・定時制　□	給付金支給額 円
	②生業扶助受給関係	受給世帯　□　　非受給世帯　□	
	③非課税等の対象区分	非課税　□　　所得割 105,500 円未満　□ 所得割 182,500 円未満（専攻科以外）　□　　所得割 264,500 円未満多子世帯（専攻科のみ）□	
	④加算額	有り　□　　※災害により、制服の購入が必要な場合（加算 81,000 円）	
	⑤確認方法	生業扶助証明書　□　　課税証明書等　□　　修学支援金等支給決定通知　□	

【生徒の国籍等の確認について】 該当する□にレ印を付けてください。 （裏）

<table>
<tr><td>□日本国籍</td><td colspan="2">住民票の写し（コピー不可）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>□特別永住者</td><td colspan="2">特別永住者証明書※1または住民票※2の写し</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>□永住者</td><td colspan="2" rowspan="4">在留カード※1または住民票※2の写し</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>□日本人の配偶者等</td><td rowspan="2">在留期間（満了日）</td><td rowspan="2">（西暦）　年　月　日</td></tr>
<tr><td>□永住者の配偶者等</td></tr>
<tr><td>□定住者</td><td>在留期間（満了日）</td><td>（西暦）　年　月　日</td></tr>
<tr><td></td><td>日本国に永住する意思の有無</td><td>□はい(あり)　□いいえ(なし)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">□家族滞在</td><td colspan="2" rowspan="8">・在留カード※1または住民票※2の写し
・日本の小学校の卒業証書の写し
または卒業証明書
・日本の中学校の卒業証書の写し
または卒業証明書</td><td>在留期間（満了日）</td><td>（西暦）　年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">日本国の小学校の卒業の有無等</td><td>□卒業した　□卒業していない</td></tr>
<tr><td>小学校名</td></tr>
<tr><td>所在地</td></tr>
<tr><td rowspan="3">日本国の中学校の卒業の有無等</td><td>□卒業した　□卒業していない</td></tr>
<tr><td>中学校名</td></tr>
<tr><td>所在地</td></tr>
<tr><td>日本国で就労する意思の有無</td><td>□はい(あり)　□いいえ(なし)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">□上記以外の在留資格（留学等）</td><td>在校生</td><td>書類不要</td><td rowspan="2">在留期間（満了日）</td><td rowspan="2">（西暦）　年　月　日</td></tr>
<tr><td>新入生</td><td>在留カード※1または住民票※2の写し（在留資格が留学の新入生は対象外）</td></tr>
</table>

※1在留カード等に記載されていない通称名で申請する場合は、本名と通称名が記載された住民票も提出が必要

※2国籍・在留資格・在留期間等の記載があるもの（コピー不可）

【保護者等の収入状況等の確認について】該当する□にレ印を付けてください。

□ **生活保護法による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書を提出します**

□ **生業扶助（高等学校等就学費）を受給していないので、課税証明書等を提出します**

- □ **親権者（両親等）２名分**
- □ **親権者　１名分**（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く）
  - ・離婚、死別等により親権者が１名の場合
  - ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の１人の課税証明書等を提出できない場合　等
- □ **未成年後見人（　　）人分**
  - ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
  - ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
- □ **主たる生計維持者（両親等）２名分**
  - ・生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
- □ **主たる生計維持者　１名分**
  - ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合　・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合　等
- □ **生徒等本人**　・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合　等

□ **課税証明書等を提出しません**

・所得確認の対象が生徒本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

【その他】該当する場合は、□にレ印をつけてください。

□ **災害等により制服の再購入が必要な場合**　・罹災証明書等、制服の再購入に係る誓約書・証明書を提出します

□ **専攻科多子世帯として申請する場合**　・扶養親族申告書を提出します